

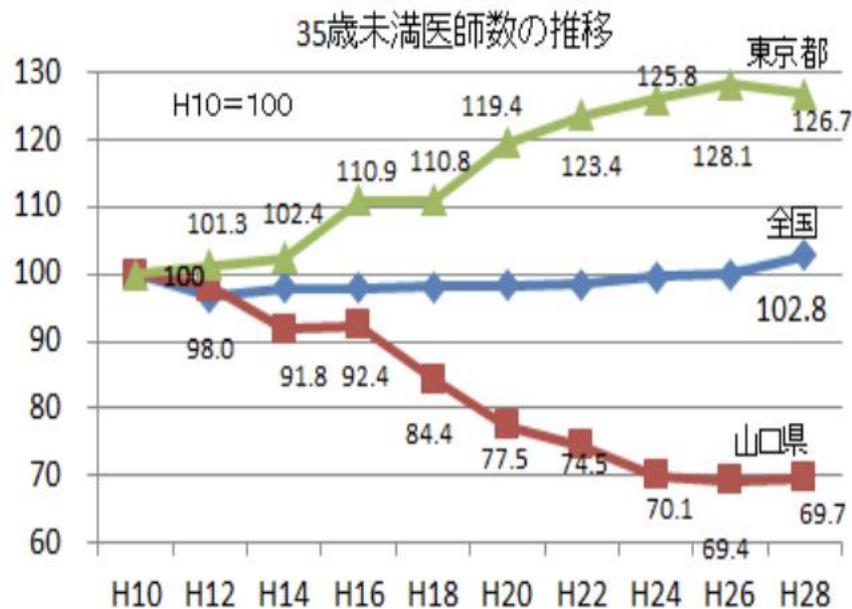
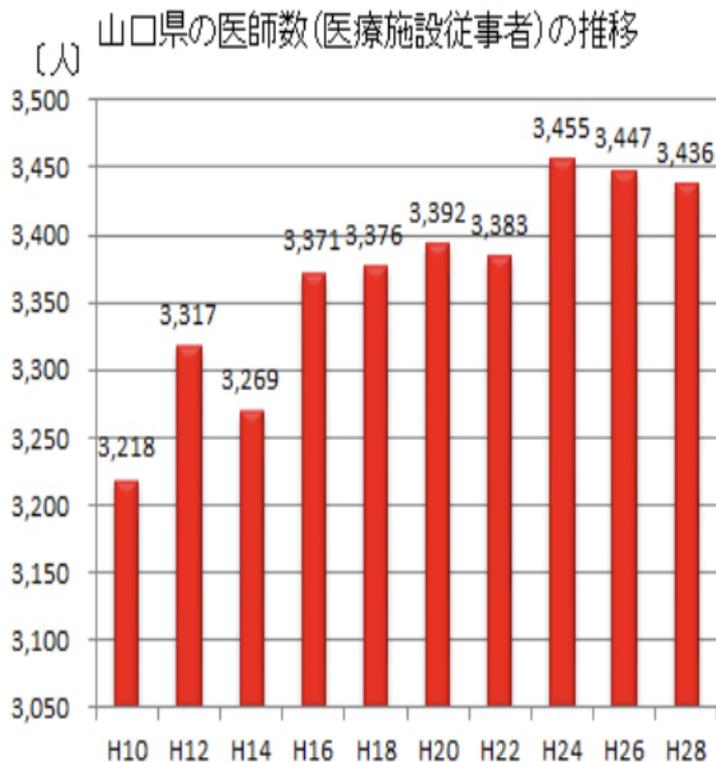
日本医師会女性医師支援センター・日本医学会連合 共催
令和元年度 女性医師支援担当者連絡会
2019.12.8

山口県医師会の試み

山口県医師会 副会長 今村孝子

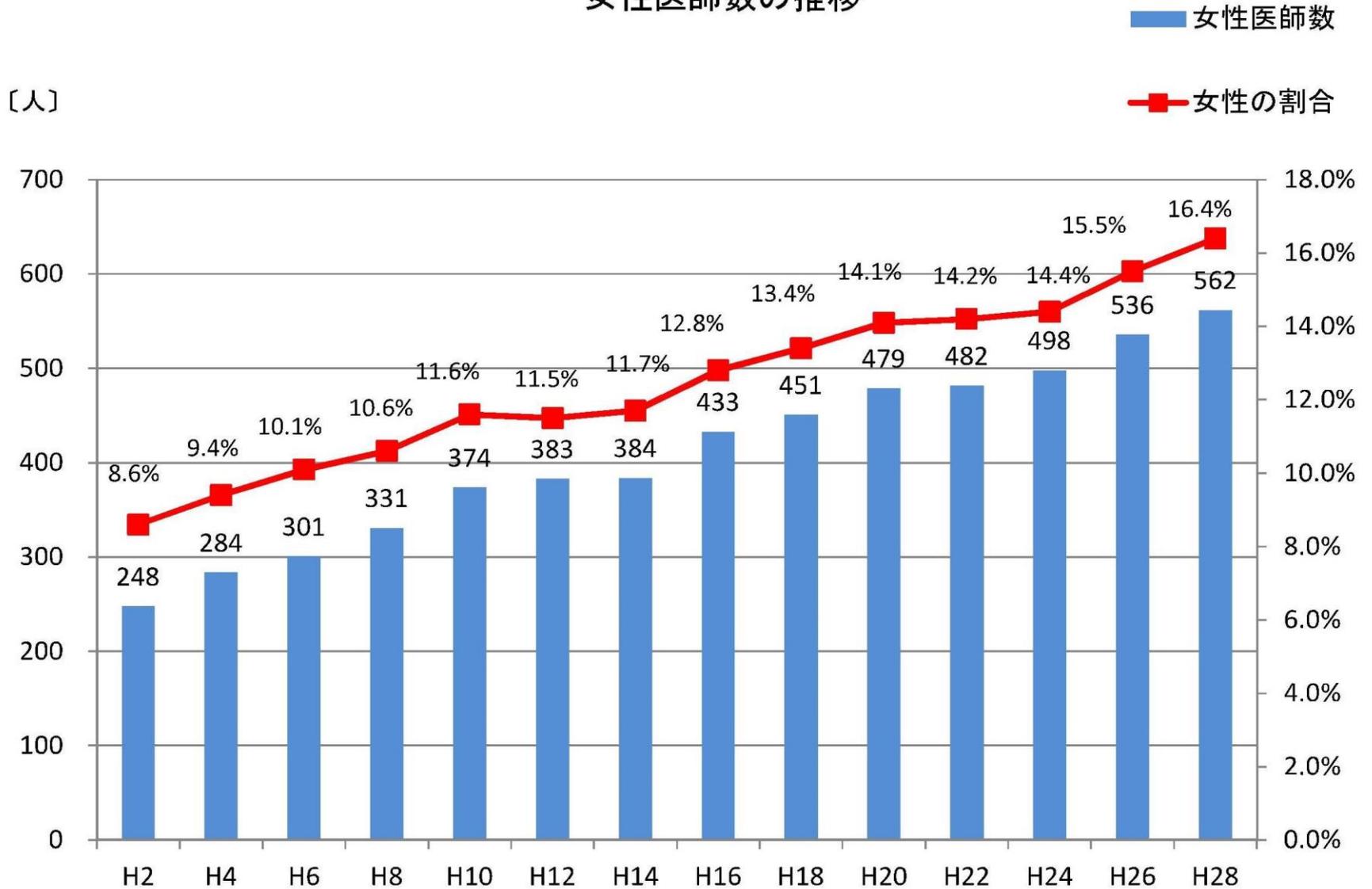
国宝 瑠璃光寺五重塔(山口市)

山口県の医師数は、平成10年と比較して平成28年は218人増の3,436人
 人口10万人当たりの医師数は、246.5人で全国平均(240.1人)で中位レベル



医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)

女性医師数の推移



医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省)

男女共同参画推進部会の設立経緯

平成**17**年**11**月

女性医師懇談会を開催



平成**18**年 6 月

女性医師参画推進部会設立準備委員会を設置

平成**19**年 3 月

女性医師参画推進部会を設置

(平成24年 4 月 男女共同参画部会へ名称変更)

山口県医師会男女共同参画部会の活動

- 育児(子育て)支援**WG**
- 勤務医環境問題**WG**
- 地域連携**WG**
- 女子医学生キャリアデザイン支援**WG**
- 広報**WG**
- 介護支援**WG**



育児（子育て）支援

夜中でも保育情報が見られる
HPがあるといいわよねえ



将来的には医師会が関わって
安心して保育を頼める人が
見つかるといいわねえ

まずは市町の関係窓口と
ファミサポ情報をHPに
載せたらどうかしら？



保育サポーターバンク設立の経緯

平成20年度

県医師会のホームページに市町の窓口情報及びファミリーサポートセンターの情報を掲載

平成21年度

山口県が医師確保対策として「山口県女性医師保育等支援事業」を創設し、本事業の一環として、保育相談窓口（相談員）の設置を山口県医師会に委託

山口県医師会として「保育サポーターバンク」を設置（平成21年9月）

山口県
医師会

保育サポーターバンク

登録者募集

1 バンクの方針

- 女性医師が働き続けるために、できれば、同じ方に継続して支援していただくことを方針としています。

2 サポーターとしての支援の内容は？

- 子どもの預かり保育（サポーター宅又は女性医師宅）
- 子どもの送迎（保育施設などへ）
- その他女性医師が仕事と家庭を両立するために必要な支援

3 サポーターバンクへの登録は？

- 県内在住の方で、保育のサポートをしてくださる方ならどなたでも登録できますが、継続してある程度長期お願いできる方を求めています。
- サポーター登録票（別紙様式）の提出が必要です。

4 サポートはいつから？

- 女性医師からの要望があった段階で、サポーターバンク登録者を情報提供し、女性医師が希望するサポーター候補者の方へ山口県医師会保育相談員が連絡し、その後女性医師とサポーターが報酬等の具体的なことを決め、サポート開始となります。

5 事故等に対する保険は？

- 「賠償責任保険」に加入していただきます。保険料は山口県医師会が負担します。

多くの方の登録をお待ちしています。
ご不明な点がございましたら、
ご連絡なくお問い合わせください。

■お申込み・お問合せ（登録票送付先）

社団法人山口県医師会 女性医師保育相談員

〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1-1

TEL 090-9502-3715（月～木 9:00～17:00）

E-mail hoiku@yamaguchi.med.or.jp FAX 083-922-2527



山口県医師会では、県内女性医師の
子どもの保育をサポートしていただく
保育サポーターの募集を行っています。
女性医師が働き続けることができるよう、
社会の医師不足がこれ以上進まないよう、
みなさまのご理解と協力をお願いします。
サポーターバンクの概要は左記のとおりです。

保育サポーターバンクとは…

- 平成21年に山口県医師会に設立しました。
- 目的は、医師が仕事と家庭を両立させることです。
- 支援内容は、保育と併せてできる範囲であれば制限はありません。
- 報酬は医師とサポーターが話し合ってから決めます。
- 利用している医師から感謝の声が寄せられています。

ホッ！これで安心。

支援の例

- 子どもと一緒に医師宅でママが帰るまで留守番
- 子どもと一緒に医師宅で留守番をしながら、家族の夕食の支度や簡単な掃除
- ママの都合が悪い時の保育園の迎えと、引き続きお迎えの送り
- 残業の日の保育園の迎えと、その後サポーター宅での預かり（子どもの食事を含む）
- ママが当直の日、パパが緊急呼び出しを受けた時のサポーター宅での預かり（待機を含む）
- 学童保育終了時の迎えとその後医師帰宅までいっしょに過ごす

支援の流れ



- 詳しいことのお問い合わせや、サポーターの支援を受けたい時は、下記にご連絡ください。女性医師保育相談員がすぐに対応いたします。山口県内の医師はどなたでも利用できます。
- その他、バンクの運営とは別に、県医師会の女性医師保育相談員は、保育園入園等や民間のベビーシッター派遣に関する相談も受け付けて、できる限りの仲介・調整をします。お気軽にご相談下さい。



育児で困ったら、まずお電話かメールをください
男性医師からの相談も受け付けます

山口県医師会 女性医師保育相談員

TEL090-9502-3715 9:00～17:00

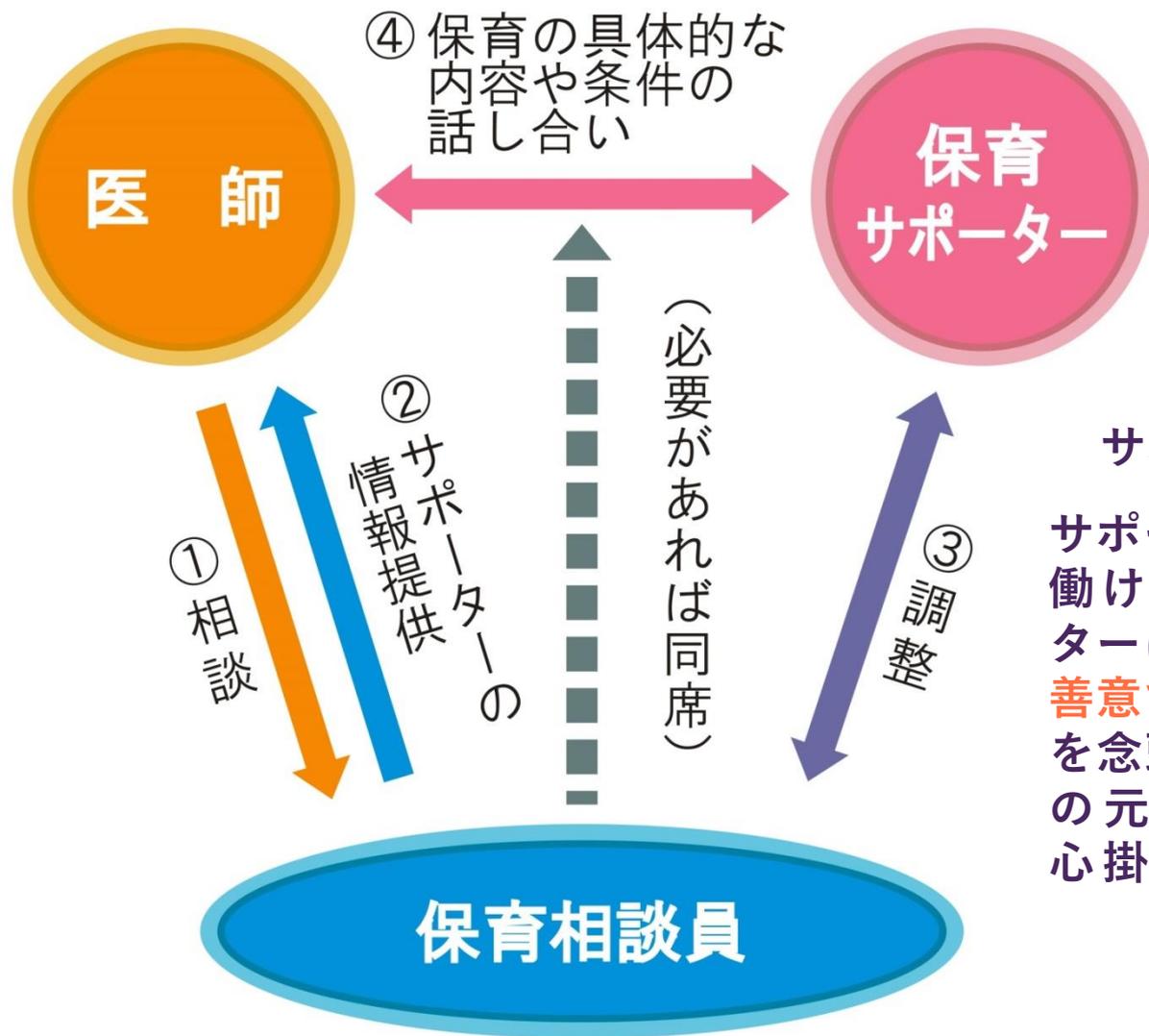
メール・FAXはいつでも受け付けます。

E-mail hoiku@yamaguchi.med.or.jp / FAX083-922-2527

山口県医師会は、育児中の働く医師を応援します！

仕事と家庭（育児）の両立を目指している
医師の方々へ
山口県医師会 保育サポーターバンクをご活用ください。

支援の流れ



サポート開始にあたって

サポーターは、医師が安心して働けるよう、医師は、サポーターは医師の就労継続のために善意で支援してくれていることを念頭に、お互いの信頼関係の元で支援が長く続くよう心掛けましょう

代表的なサポート内容

- (1) 園・学童保育への迎えと医師が帰宅するまでの預かり
(子どもの食事も含む)
- (2) 保育のみ
(医師宅・サポーター宅・勤務先の病院内)・・・乳児が主
- (3) 病気・残業等の突発時への対応
(園への迎え、受診、預かり又は病児保育の手続き等)
・・・成立後の実働は僅か
- (4) 園・学童保育への迎えと習い事・塾への送迎
- (5) 二人目以降の出産に伴う産前・産後のサポート
(上の子のお世話、送迎、家事)

保育サポーター支援

- サポーターバンク通信
- 研修会
- 地区別ミニ集会
- 賠償責任保険契約
- チャイルドシートとの貸与
- 相談員との相談



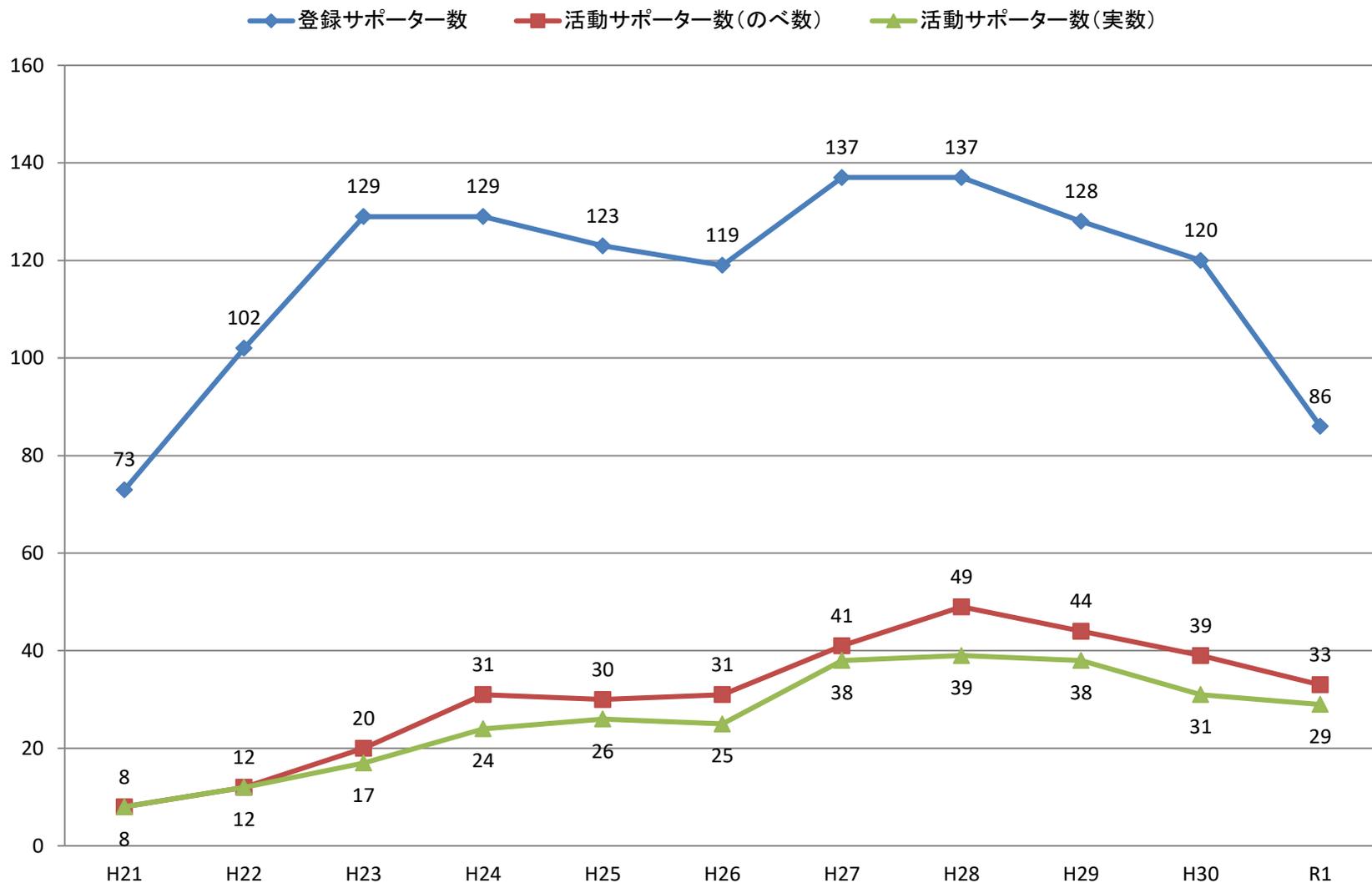
活動状況

事業開始時からの総計（平成21年7月～令和元年10月）

総相談件数	190件
成立件総数	118件
活動したサポーター総数	180名
登録中サポーター数	86名
現在活動中実数	29名
利用した医師総数	71名
現在利用中実数	21名

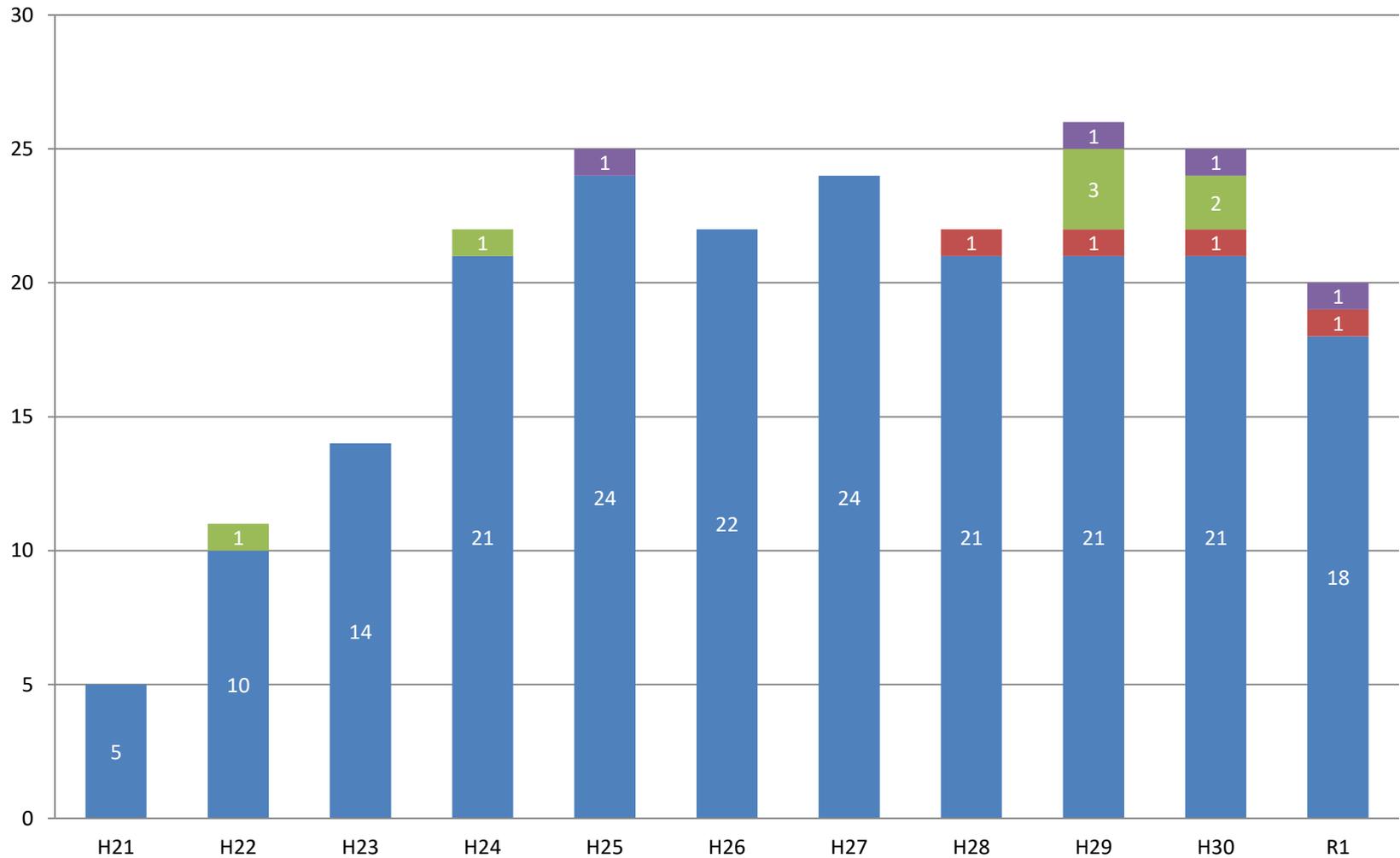
* 会議の際の託児等単発活動を含む

登録・活動サポーター一挙



利用医師数

■ 女性勤務医 ■ 女性開業医 ■ 男性勤務医 ■ 男性開業医



変化

相談者

- ・ 開業医や男性医師からの相談
- ・ 希望するサポート内容の変化（家事や送迎等）
- ・ 複数の保育サポーターとの面談が増加

保育サポーター

- ・ 何らかの仕事を持っているサポーターの増加
- ・ ゴールデンタイム(学童保育後)に対応できるサポーターの減少
- ・ サポーターの高齢化(4割が60歳代)

医師のニーズに合っているのか？

< 相談員の悩み >

(1) 保育支援→家事支援

①産休→育休、②保育施設の充実、③子どもと過ごす時間の確保

問題点：サポーターは保育を希望

(2) 車での送迎（保育施設から習い事へ等）

問題点：サポーターの高齢化、送迎の拒否

(3) 突発時の急な依頼

問題点：サポーターは他の仕事と兼務している場合が多く、日程調整や突発時対応は困難

これから

地域医療の維持・充実には医師確保が必須
医師が安心して働くための支援が必要



保育サポーター事業の継続は現状としては必要



事業の継続に向けて改善策の模索

- ・ 保育サポーターの再登録（意思確認後）
- ・ サポート内容の見直し
- ・ サポート体制の工夫（複数のサポーターでのチーム編成によるサポート等）
- ・ 拠点化による事業の充実を試みる 等

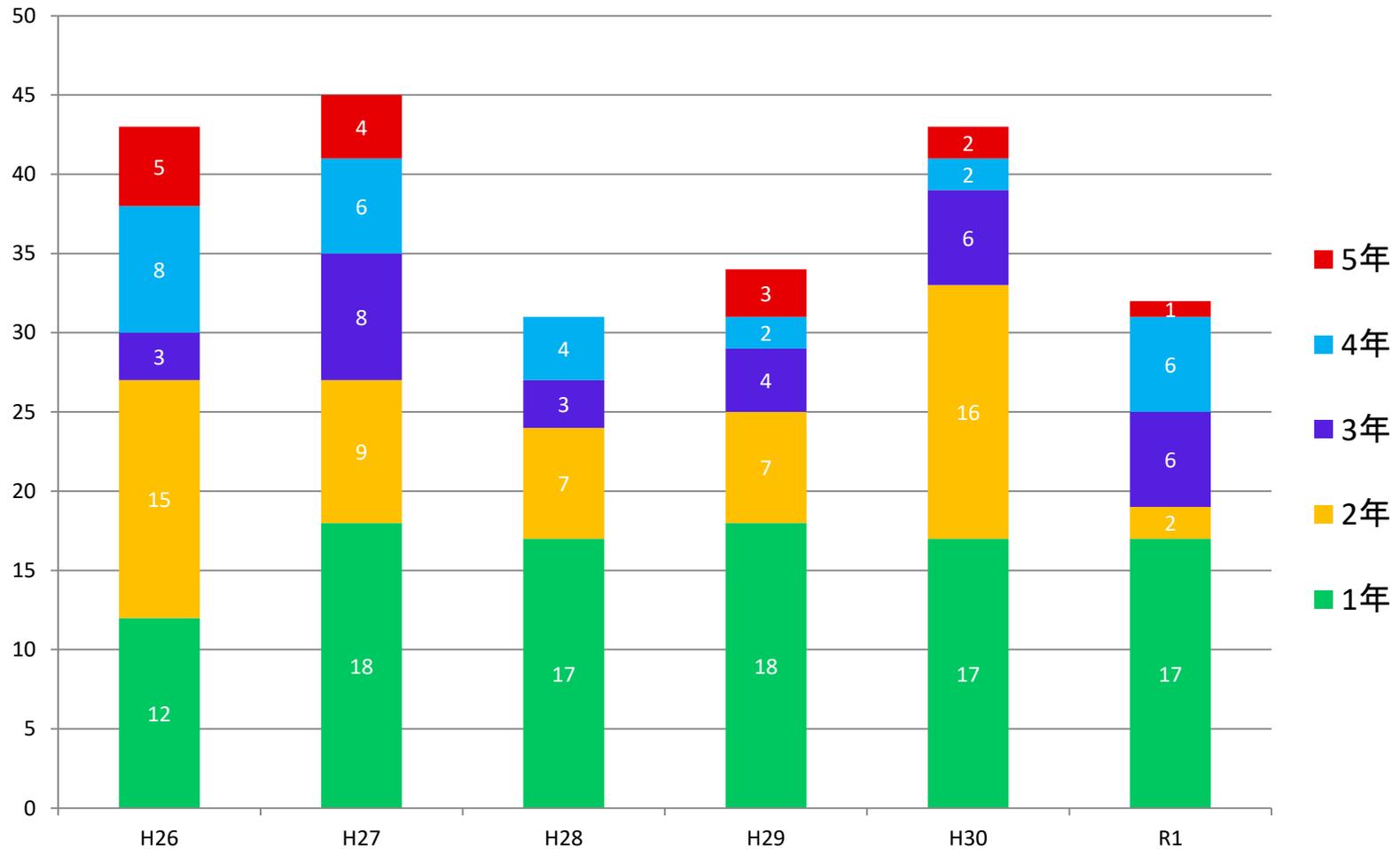
女子医学生キャリアデザイン支援

女子医学生インターンシップ事業

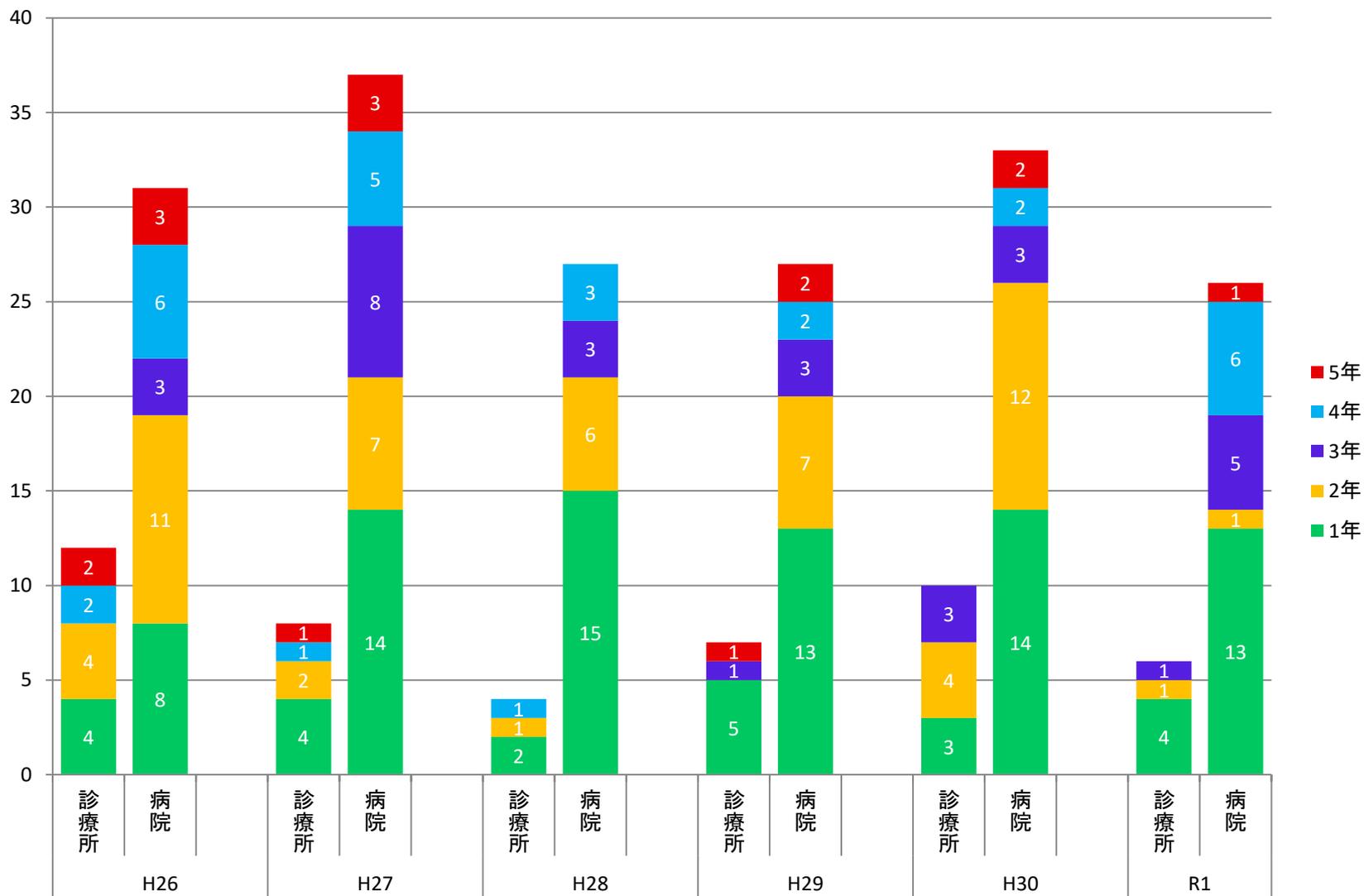
<目的> 女性医師の働く姿を見て、自分の将来をイメージしてもらう



学年別参加学生数



研修場所別参加学生数



感想

<女子学生>

- ・ 将来への不安を減らせた
- ・ 医療へのモチベーションを保つ機会になった
- ・ 女性医師ならではの患者さんへの接し方を間近で見聞きできたので良かった
- ・ 希望外の科だったが、むしろ新たな科にも興味が沸いた

<女性医師>

- ・ 低学年次に女性医師の働き方がイメージできるから良い
- ・ むしろ学生から刺激を受けた
- ・ 子育て中の女性医師は忙しくインターンシップ受入れが負担
- ・ 学生の希望科も考慮してマッチさせて欲しい

ご清聴ありがとうございました

